



Shaping Forces. Laurent Ney

The Consortium of Universities in Osaka | Room D・E

すべてのものには「かたち」があり、すべての「かたち」には意味があります。また、「かたち」には成り立たせるための仕組みがあります。美しいかたちは美しい曲線・幾何学を持ち、自然な力の流れを創りだします。かたちと力、かたちと幾何学、これらは密接に係わり合いひとつのオブジェクトを生み出します。かたちが創り出す力の流れを探し、同時に美しいものをピックアップしていくというアプローチによって、Ney&Partners の作品はできています。場所性、機能性、構造合理性、施工性など様々な条件の最適解である「かたち」は、ローラン・ネイの思考の結晶なのです。『Shaping forces』と題した本講演では、最新プロジェクトを通して、構造力学をツールに生み出される彼の「かたち」に対する思考に触れて頂きます。

プログラム

- | | |
|---------------|---|
| 14:00 - 14:10 | 趣旨説明 久保田善明 (京都大学) |
| 14:10 - 15:40 | 基調講演 ローラン・ネイ氏 「Shaping forces」 |
| 16:00 - 16:30 | 話題提供 渡邊竜一氏 (Ney&Partners) |
| | 「構造デザインにおける新しい設計プロセス - 欧州でのコンペ事例を通じて -」 |
| 16:30 - 17:00 | オープンディスカッション |
- * 講演会終了後、懇親会の開催を予定しております。
- * 基調講演は、英語で行われますが日本語での補足解説を行います。
- * 本行事は、土木学会認定 CPD プログラムです。



ローラン・ネイ

1964 年 フランス・ティオンヴィル生まれ。

リエージュ大学で土木工学を修めた後、ルネ・グレイシュ構造事務所に勤務。1996 年 ネイ&パートナーズをブリュッセルに設立。建築と土木構造物のエンジニアとして多数のプロジェクトを手がける。主な作品は、アントワープ環状線 (斜張橋を含む全長 2.2 キロ)、クノック歩道橋 (鋼構造)、カレッジ歩道橋 (吊橋)、デュワン歩道橋 (改修)、アントワープ北駅歩道橋 (鋼構造・モノコック構造)、アルデン・ビーゼン (開閉式膜構造)、Tachkemoni キャノビー、キールキャノビー、アンダレヒトスタジアム、ナイメーヘン・シティブリッジほか。

2011.12.01 14:00 - 17:00

ローラン・ネイ 講演会 | 大学コンソーシアム大阪 ルーム D・E | 入場無料

会場住所: 大阪市北区梅田 1-2-2 400 大阪駅前第 2 ビル 4 階 キャンパスポート大阪 | 主催: 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻景観設計学研究室
問い合わせ: 075-383-3326 / kubota.yoshiaki.8w@kyoto-u.ac.jp (久保田) | 後援: (社) 土木学会 (社) 日本建築学会 (社) 建設コンサルタンツ協会 (社) 日本橋梁建設協会 (社) 日本鋼構造協会